

「四国の夢プロジェクト」 表彰式について

四国の50年先、100年先の「あったらいいのに」「出来るかもしれない」
未来の“四国の夢”アイデアを募集し、クリエイト協会会議室に於いて表彰式を行
いました。

○「四国の夢プロジェクト」とは

四国では世紀の大事業と言われた「本州四国連絡橋」をはじめ、四国の水がめ
「早明浦ダム」、「四国8の字ネットワーク」など多くの事業や開発は当時の50年
先、100年先の夢の実現です。

社会全体のイノベーションが進む中、50年先か100年先かもっと未来に向け
て実現できたら、出来るかもしれない「○○が出来たらいいのに」「こんなものが
あれば便利でいいのに」という「夢」のようなアイデアがあれば若者に希望と活力
を与え、未来の元気な四国を建設し発展させることに役立つと考え、四国発信の
「夢プロジェクト」が四国そして日本の未来の幸せで豊かな生活への力となる
との思いから「四国の夢プロジェクト」を実施しました。

○募集期間

・平成30年7月～9月の3ヶ月間「夢アイデア」を募集(ポスター900枚、チラシ10,000枚配布)

○応募数

- ・小学生・中学生の部・・・53件(小学生28件、中学生25件)
- ・高校・大学・一般の部・・・55件(高校生21件、一般34件)

○審査日・・・平成30年12月10日

○表彰式・・・平成31年2月28日 14:30～16:30

長谷川実行委員会委員長は、「どの作品も「独創性」があり、小中学生の部では大人では想像できないような「夢」にあふ
れた子供らしく微笑ましい作品が応募されました。また、高校・大学・一般の部では「独創性」や「四国らしさ」が表現され、
50年先まで待たなくても可能かな?と思える「実現性」も見受けられました。どの作品も未来の元気な四国を建設できる
かもしれないアイデアばかりでした。」との総評をいただきました。



【小学生・中学生の部受賞者】

評価	氏名	タイトル
最優秀賞	上沖 優輝 さん	四国を宇宙旅行のげんかんに
優秀賞	匿名	うどんどん
優秀賞	金集 建二郎 さん	光合成が出来る葉（つぶ）
佳作	笠江 彰 さん	大自然レジャーマップの作成
	笠江 駿 さん	
佳作	田中 元喜 さん	巨大タンクに夏・冬貯蔵した暖風・冷風を逆の季節に放出
佳作	西濱 光琳 さん	未来の交通体系in四国
佳作	富士 雅岳 さん	空飛ぶバス
佳作	桃田 彩羽 さん	酸素を出す気体清浄木

【高校・大学・一般の部受賞者】

評価	氏名	タイトル
最優秀賞	高川 裕美 さん	芸術の島四国
優秀賞	宇川 菜々海 さん	小豆シマルシェ～オリーブロード
佳作	武岡 采実 さん	瀬戸大橋の観光と移動を兼ねたロープウェイ
佳作	田村 元樹 さん	歩行困難者の移動を補助するロボット
佳作	田和 俊介 さん	海底資源の利用
佳作	土居 正也 さん	食糧難の解決
佳作	藤井 優樹 さん	四国遍路に外国人向けガイドローン・老人向けにドローン遍路

【最優秀賞】小学生・中学生の部

小・中学生の部



上沖 優輝 様

タイトル：四国を宇宙旅行のげんかんに

概要 未来の「四国の夢」
 四国を宇宙旅行のげんかんにします。
 四国に宇宙エレベーター基地をつくり、
 宇宙ステーションとエレベーターで飛ぶ
 ます。
 宇宙ステーションには、火星などのわか
 り星への発着口をつくり、
 わかり星への旅行は、すべて四国からです。

総評

宇宙旅行という子供らしい夢のある発想でワクワクします。地球から直接惑星へ旅行するのではなく、宇宙ステーションに発着口を造るというアイデアで、そのために四国にエレベーター基地を造ると、ひとひねりして四国らしさもアピールしていて微笑ましい作品です。「絵」も上手に描けていて楽しませていただきました。



高校・大学・一般の部



会社員
高川 裕美 様

タイトル：芸術の島四国

概要

○四国全域を芸術の島にする。芸術の都四国。

- ・京都のように歩くだけで文化を感じるような雰囲気づくり
- ・美しいものは何でも芸術のカテゴリーとしてとらえる
(生活美・健康美・自然美・アート・文化・言葉等々)
- ・それぞれを体験できる大レジャーランドを作る
- ・体験をして、本格的に体感したい人にはツアーを作り案内する

○外国で認められてから人気が出る傾向

- ・意外と知られない生産量日本一や、メイドイン四国の海外での人気商品、知らないでは格好悪い。地元文化を知り、発信する。

四国の夢 100年後も豊かで元気に栄えていること

必要なこと

- ・人が増えること・魅力があること・魅力を発信すること・共感を得ること
- ・心地よいこと

総評

100年後も豊かで元気に栄えている四国をどのように発信するかというアイデアを「簡単な体験、実演と購入をメインとした施設の建築、本場を体験できるツアー、四国文化大学をつくるなど具体的に考えていて、現実性がうかがえた。

<一か所でざっくり魅力のわかる施設をつくる>

○簡単な体験、実演と購入をメインとした施設

☆四国には、そこにしかない文化や自然、民芸品、食文化等々たくさんあるが、公共交通機関でのアクセスも悪く、車でしか行けないところも多い。特に島。せっかく時間をかけて島に行き、バスの乗り降ぎが悪く、ほとんど回れないということも多い。

まず、体験してもらって「本場にいきたい！」と思ってもらえる体験施設を作る。

- ・うどん・和三盆・漆器・醤油・手袋・一閑張
 - ・阿波踊り・藍染
 - ・カツオの蒲焼き・よさこい・木工・和食料理・紙
 - ・太鼓祭り・砥部焼・鯛めし・坊ちゃん団子・酒
- 教える側にも技術がクローズアップされるメリットがある。

<本場を体験できるツアーを作る>

☆体験すると極めたい人が出てくる。そんな人に工務や贈り物体験のツアーを用意する。

- ・頼みのあるものほど選択しやすい。伝統を継承することに関して「知る・楽しむ」を体験してもらうことは、とても重要

<四国文化大学を作る>

☆文化・伝統・技術を学び、世界に発信する。

- ・芸術にとどまらず、遊びや民芸品、民衆療法とうとう四国から世界へ発信できる技術・研究を行う。

<最後に>

瀬戸内国際芸術祭は、とても活気が出て素晴らしいと思いました。外国から来られた方も多く、大変な賑わいでした。人がいれば地域が活気づき、共感できる人が集まれば「祭り」になり、楽しそうにしていれば、まだ人が集まるようです。システムやチャンス、発想は悪いエネルギーなのだと感じました。

四国には素晴らしい文化や自然がたくさんあります。必要なのは、発信すること・受け入れることだと思います。多くの人の発想で四国が変化し豊かになれば良いと思います。

一般社団法人 四国クリエイティブ協会 All Rights Reserved.

人間らしい染料 藍染め

子供の頃から本物に触れ四国の芸術を後に伝える
四国がこれから100年美しく栄えますように



★★四国の煌めき 未来へとどけ★★

写真引用：「OOLocal」マガジンハウス (<https://colocal.jp/>)
四国経済産業局 (<http://www.shikoku-net.go.jp/index.html>)

一般社団法人 四国クリエイティブ協会 All Rights Reserved.